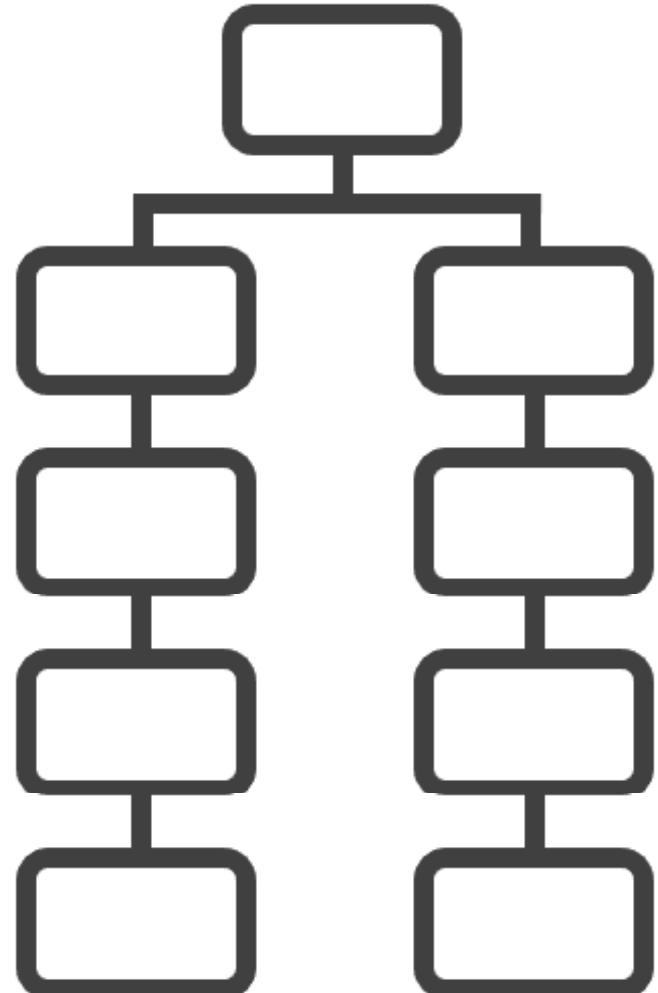


1. 事前評価で最低限押さえたいこと
2. 「事業設計図」を中心に事業を企画する
3. 「事業設計図」を計画・進捗管理・成果の把握等に活かす

### 3. 「事業設計図」を計画・進捗管理・成果の把握等に活かす



「事業設計図」をもとに、「事業計画」に落とします。



要素	説明
長期アウトカム	最終的に社会課題が解決された状態
中期アウトカム	事業終了後、3～5年以内に目指す状態
短期アウトカム	事業期間内に達成を目指す成果
アウトプット	事業の実施結果
活動内容	事業の内容

注：中長期・短期アウトカムの定義は、休眠預金等活用制度上の整理です。

### 3. 「事業設計図」を計画・進捗管理・成果の把握等に活かす



アウトカムは「対象にもたらされる変化、便益、効果」のこと、対象は個人・組織・コミュニティ・社会など様々です。事業・活動の結果（アウトプット）ではなく、それによって生まれるアウトカムに着目して事業の成果を考えることがポイントです。

#### アウトカムの例



これまで就労意欲のなかった人が就職に前向きになる

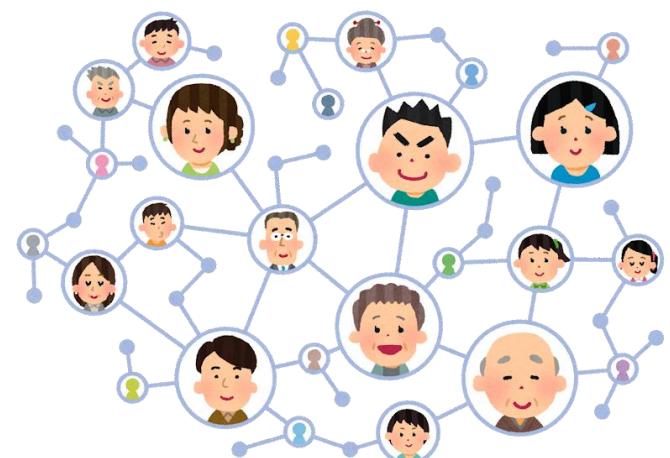


学習に対して意欲を失っていた子どもが  
学習に対して意欲的になる



元依存者が、意欲をもって回復への道を歩み、再犯の悪循環から解放された状態になる

組織の財源が多様化・安定化して、持続性が高まる



地域内で当事者を囲むネットワークが構築される

### 3. 「事業設計図」を計画・進捗管理・成果の把握等に活かす



アウトカムの設定の際には、以下の点を意識してください。

- ①社会課題を抱えている人たちや地域がどのような状態になっているか具体的に設定されていること
- ②第三者が見た時にもイメージできるよう具体的であること（キーワード・レベルで書かないこと）
- ③受益者の設定が明確になっていること（受益者が複数の場合、「成果」が受益者ごとに整理されていること。）

#### 悪い例

独居高齢者の  
社会的孤立を防ぐ

エンパワーメントされる

地域のみんなが自然体  
験を楽しめるようになる

#### 良い例

A地域の独居高齢者が、  
生活上の些細な困りごとを気  
兼ねなく相談できるようになる

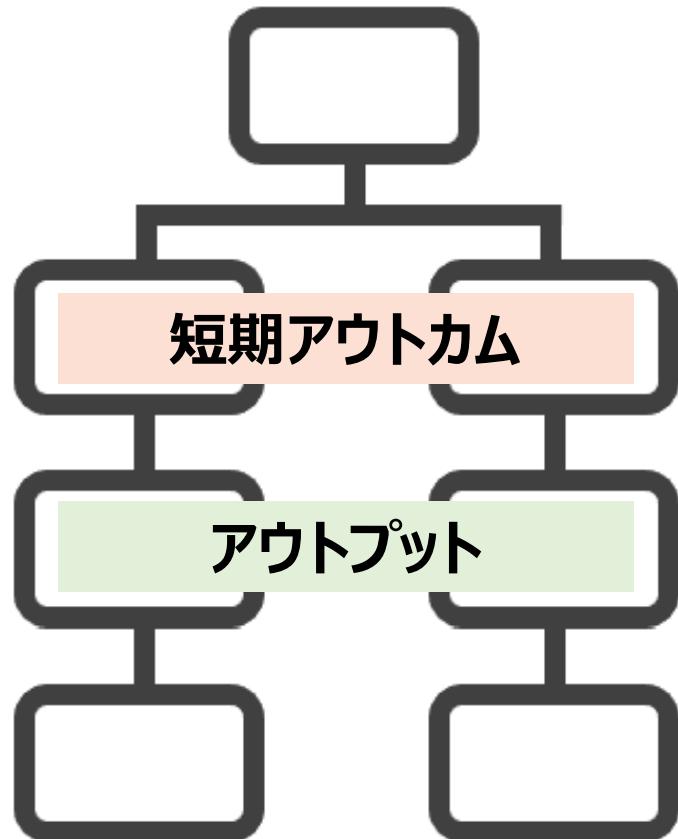
若者のスキルアップに対する  
意欲が向上し、自ら研鑽す  
るようになる

B地域において、これまで外  
出機会の少なかった障がい  
児が、自然体験の機会を得  
られるようになる

### 3. 「事業設計図」を計画・進捗管理・成果の把握等に活かす



指標の設定の際には、以下の点を意識してください。



#### 指標設定のポイント



事業者として、実現したい成果／生み出したい変化を捉えるものになっているか？



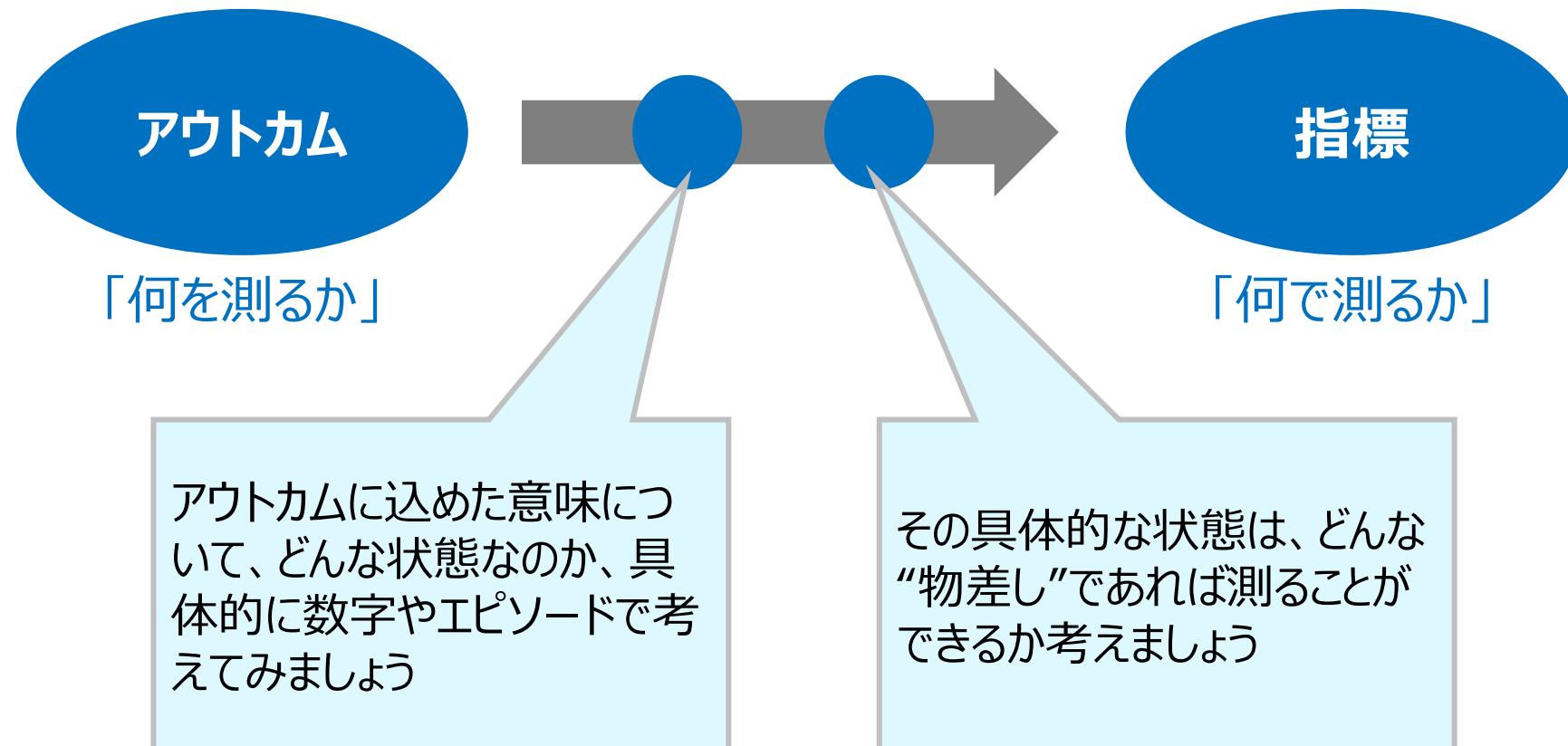
事業の進捗を管理するものとして、適切な設定になっているか？（事業実施状況のチェックポイントとして適切か？）

### 3. 「事業設計図」を計画・進捗管理・成果の把握等に活かす



#### 指標の設定のポイント

アウトカムから指標を作るには、アウトカム（望ましい変化）が生じたかどうかを具体的に示すことができる数字やエピソードを考えることがポイントです。



誰ひとり取り残さない  
持続可能な社会作りへの触媒に。

ご清聴ありがとうございました。